

ファーストアクション事業

親水・多自然型
まちづくり

川づくりプロジェクト

川づくりプロジェクトとは

近年、護岸工事などのために、川や自然と触れ合う機会が少なくなっています。

川づくりプロジェクトは、魚ザリガニ捕りなどをして、川と触れ合えるような、昔の環境を取り戻し、愛着のもてるふるさとづくりを進める事業です。

このプロジェクトは、「みのかも川づくりの会(仮称)」(代表長谷川和弘さん)のメンバー8人が中心となり進めています。

プロジェクト3つの目標

- ①ホタルや魚など生物が戻ってくるように河川(水質)を浄化する
- 水草、ネコヤナギなど浄化作用

のある植物を植える

- ・リンなど富栄養素を含まない洗剤、せっけんをPR
- ・河川の清掃活動

②環境に関心を持ってもらうために市民の人たちを巻き込んだイベントを開催する

- ・わくわく川遊びの開催
- ③川の土手を散策したりジョギングできる公園のような憩いの場に変えていく
- ・土手に植物を植えるなど

川づくりまずは調査
そして実践へ・・・

このプロジェクトを進める上



▲市内の河川現況調査の様子(加茂川)

で、河川の調査は不可欠です。みのかも川づくりの会では、加瀬田川でのホタルウォッチングや加茂川、加瀬田川の川底の現況、護岸工事の状況、付近の植物などを調べる河川現況調査を行いました。今後は、市民の皆さんや子どもたちに自然環境への関心を持ってもらうよう「わくわく川遊び」などのイベントやカワゲラウォッチング(水生生物の調査)を市とタイアップして行っていきます。市内に残っている、今ある自然を守りつつ、加茂川、加瀬田川に狙いを定め、親水化を進めることで、人と自然が共生できる環境づくりを進めていきます。

みのかも川づくりの会からのメッセージ



みのかも川づくりの会代表 長谷川和弘さん(太田町)

川づくり今ならまだ間に合う

私たちの会は、自然とふれ合うことができる環境を美濃加茂にも残していきたいという思いで活動しています。

水に親しむ川づくり(親水)への取り組みが、今ならまだ間に合うと思います。実際、加瀬田川のホタルウォッチングでは、多くのホタルが確認できましたが、一部あまり見られない区間がありました。しかし、周りの環境を見た感じでは、ホタルの再生が可能だと思えました。

川づくりは、短期間でできるような取り組みではありません。結果は10年20年先のことですが、地道な活動を進めていきます。

魚を釣る、虫を採集する、何でもかまいません。まず自然環境に関心を持ってください。関心を持つこと、それが環境への取り組みの第一歩になると信じています。